

### ゴミステーションの問題点について

**Q1** ・長年の経過でゴミ当番表も回ってごなくなりステーションの利用者も不明の状態です。また、幹線道路にアクセスしやすい場所にあるため、遠くから車でゴミを運んで来る人も見受けられます。日によっては溢れることもあります。入り口付近にゴミを放置する人を見受けられます。カラスや猫の被害を受けてゴミが散乱しています。その対策として、①ステーションの利用者を調査して再編成する(1カ所に集中しない利用の在り方)。②利用者でステーションの清掃当番を決め、当番表をバトンする。③ゴミステーションの利用マナーや決められたステーションを利用する事への広報(3丁目)。

・月2回の不燃ゴミが残る→一般ゴミと同じ回収場所にならないか？(3丁目)

・不燃ゴミの日によく狙ってゴミを取りに来る車があります。特に大阪ナンバーの車をよく見ます。条例違反を出してみてもは。(4丁目)

・毎年けっこう高額な自治会費を払っています。それで、各自治会会員の家庭にゴミ袋とかビン用袋とかを何枚か無料で配布できないものでしょうか。会費が高いので退会する方もおられると聞きます。少しでも会員の特典があれば退会される方も少なくなるのではないのでしょうか。(5丁目)

**A1** ・ゴミステーションの課題には自治会環境部が多大な労力を費やしています(例えば、当番表が回らない、不明になっている、カラスや猫の被害、マナー違反の取残しごみの処理、自治会員でないのでゴミステーションの清掃はしない、等々の事例が発生しています)。ゴミステーションは住民の全てが利用する公的な設備です。全住民の努力で清潔に美しく維持し、全住民が清掃作業に携わるのが原則です。ただ、高齢世帯で作業ができない場合は近隣のご配慮で当番を免除しています。ゴミステーションのネットの維持管理費は自治会が負担しています。ゴミの取残し等は、自治会員の皆さまのご協力の下にマナー違反のごみ引き取り依頼チラシを配布するなど、自治会が広報活動を行っています。それでもマナー違反はなくなる状況です。本年9月より、あかしあ台自治会から長年三田市へ働き続けていた「すべてのごみステーションで不燃・可燃ごみの利用が可能」とする変更が実現します。ごみ当番表(不燃・可燃)の取り扱いも大きく変更になり、当番表も新しく整備し直します。住民の皆さまのご協力をよろしく願いいたします。

・不燃ゴミ回収日にアルミカンや不燃物抜き取りの車が走っていることは承知しています。三田市には抜き取り禁止の条例がなく、警察等も摘発ができない状況なので自治会から条例化を市に働きかけます。

・ごみ袋の会員配布につきましては、かつて実施したこともありますが、ゴミ減量へのコスト意識に反する、配布の手間が膨大な作業量となり班長に大きな負担をかけることになる、等の理由で中止となりました。今

のところ実施する予定はありません。

### 空き瓶の出し方・ごみステーション

**Q2** ・リサイクル空き瓶回収への再検討の要望。“びん”は特に重たいので高齢者にはありがたいシステムで喜んでいました。“びん”を継続すると年間約20万の持出しとの事ですが、市の“再生資源ごみ回収活動奨励金”の融通か自治会の年中行事の経費の押えで補てんは出来ませんか。(1丁目)(3丁目)

**A2** ・空きびんのリサイクル回収復活について、コロナ対策により市場が安定し、空きびんの需要が戻り回収価格が戻ればリサイクルでの回収を復活できる可能性があります。

### 環境問題・清掃除草作業

**Q3** ・クリーンデー草抜きは中止 落ち葉は公園の肥料に。ゴミ拾いに集中すべき(1丁目) ・2月クリーンデーは寒の時期で寒くて体力的にきつい。2月から3月に変更希望。(3丁目) ・きれいな街並維持のために三田市にももちろん協力してもらいつつ、あかしあ台祭りをもう少し縮小し、その費用を雑草清掃等に振り向けることはできないか。(3丁目) ・自宅前の歩道が並木によりかなり盛り上がっています。順番に舗装工事はされている様ですが、危険度が増している様に思います。

**A3** ・クリーンデーでの草抜きは不用です。ゴミ拾い、落ち葉掃き作業で結構です。市の除草作業がクリーンデーまでに終了するよう、市に要望していますが、雨天等で作業がずれ込む場合がありますが、後日除草作業が行われます。なお、市の除草作業は、リング道路年2回、あかしあ台公園とはじかみ池公園年2回、フットパス年2回、4つの小公園とあかしあ台1丁目とさくら坂間緑地は、自治会・スポーツ21・体育振興会・あかしあクラブ・緑地グループ4団体がボランティアで年2回実施しています。環境部では7月と2月のクリーンデーを11月と3月に移動し、落ち葉の時期に二か月連続で、また、寒冷期の2月を3月に移動するよう検討しています。

・まち協と自治会より除草機材購入や燃料費等について費用を分担しています。除草作業につきましては参加ボランティア団体に対し市から若干の報奨金が支払われています。・街路樹の根上がりについては、次年度以降計画的にニセアカシアから菩提樹への樹種転換を予定しています。(詳細は全戸配布した報告書を参照ください)かなりの年月がかかる予定です。根上がりについては対症療法になりますが、順次、部分補修で対応することになります。

### 公園道路等の補修工事

**Q4** ・はじかみ池公園のロング滑り台に向かう緑道が穴ぼこ状態で荒れています。平谷側沿いのベンチ(あかしあ台小裏の)非常に汚くて不潔。補修および交換をお願いします。(1丁目)

**A4** ・自治会からこれらの公園整備は順次市に要請しています。本年度、平谷川以外の小公園他のベンチの修理は完了しました。三田市も補修計画を立てていますのでしばらくお待ち下さい(3・4丁目ボンエルフの舗装補修工事は、繰り返し要望を行い、7年かけて全面補修が昨年度完了しました。)

## 街路樹管理

**Q5** ・毎年、あかしあ台公園の巨大高木、枯木の適正処理を要望してきました。成果なしで経過してきています。また、公園東側の北から4丁目南端までのイチヨウ並木は、昨年南側の一部で個人が強く要望されたとか、数本のみ強剪定がなされ、景観どころではない状況になっています。個々の住居に近く植えられている樹木です。全体として適切な処理をしてほしいと思っています。全体の高さは防犯上も危険あり。落葉の処理は個人では大量すぎる。公園の高く密集した木々は日照のさまたげ。樹種（シイ・ドングリ）により、年中、落葉、落果で困惑する。

・4丁目東一筋目の通りのいちょうに関して、道路に落ちる銀杏の実（車にふまされると臭い）いちょうの葉の掃除等を今までしてきましたが、年令と共に大変になってきました。昨年、枝を短く切つてあるところがあり掃除が楽だと思いました。全体に切つていただくと助かりますが。（4丁目）

・自宅前のラクウショウから落ちる葉、実で駐車場の車が汚れて困っています。伐採することは出来ませんか？また排水溝に落ち葉がたまり、水はけが悪くなる時があります。近所の人も困っている方がいます。（5丁目）

**A5** ・植栽後三十数年を経過し成長したあかしあ台の街路樹は巨木化とともに大きな問題をかかえています。この6月に「リング道路街路樹のあり方検討会報告」を全戸に配布しアンケート調査を実施しましたが、リング道路以外のボンエルフ等に植えられているイチヨウ（4丁目）、ラクウショウ（5丁目）、ヤマモモ（1・5丁目）にも落ち葉や実に含まれる油等で不都合が生じています。一方、景観はあかしあ台の財産だとして伐採や強剪定への批判もあります。三田市植栽管理の財政上の限界もあり、自治会からの要望に沿う管理は行われていません。庭木の管理と異なり、ニセアカシアだけで300本、他の街路樹も含めるとおびただしい数になり、年月をかけて対応せざるを得ない状況です。今後とも、住民の方々のご協力を得ながら、地域住民全体での落ち葉処理や市による定期的剪定作業・街路樹の植え替えなどの要望を市に伝えながら、適正な街路樹景観の維持管理を自治会でも目指します。

## 自治会活動のあり方

**Q6** ・自治会は市の下請け機関ではないので、市の方針をそのまま活動計画案にするのは不可。活動計画案を作成する前に会員の意見・要望を聞き、方針案を作るべき。・Leave No One Behind どころかポツポツと空家が増え、会員が減っている。会員の生活と命を守る視点が欠けていると思う。

・「だれひとり取り残さない・・・」のスローガンについて自治会員だけなのか 非会員を含んでいるのかよくわからない。全住民が対象のようにとりました。非会員は扱いがむずかしいではありませんか。自治会がこのスローガンを使うのは不適切ではありませんか。・「長い役員は早く交代を加速し次の若い人に引き継いだ方がよい」のでは、執行部に新しい人材を入れる努力をし残留しないことにしないと時代の変化や情報に対応できなくなる恐れがある。いつま

でも元気であるとは限らない。

・「各団体の連携表」の記載について、まち協はまだ4年度活動計画が決定されていませんが、先じて議案書に掲載されるのはいかがなものでしょうか。

（5丁目）

**A6** ・あかしあ台自治会は設立当初から、住民の発意により発足した自治会で、三田市の下請け機関であるという位置づけはしていません。一般的に自治会は行政の下請け機関・戦前からの大政翼賛会の流れを汲むものとして批判されることが多々ありますが、あかしあ台自治会は、この34年間、毎月役員会を持ち、毎年議案書を作成し、それに対する意見書・質問状を受付け、時にはアンケート調査を実施し、住民の意見を反映させる取り組みを続け自治会改革を進めています。・「だれ一人取り残さないあかしあ台」は、SDGsのスローガンを借用しましたが、高齢化の進む中で、地域に責任を持つ自治会として、全住民を対象に活動しなければ地域の安心安全は保てないとの考えのもとに、特に、高齢者や障害を持つ方々が生涯をあかしあ台という地で充実感をもって幸福に生活できる環境を整えなければならないと考えています。自治会の人権や自治に対する基本的な考え方と言っても良いでしょう。自治会という任意団体には重すぎる課題ですが、特に自治会未入会住民への対応については、多くの方々の知恵を集めて対応しなければならないと考えています。

・関連団体の連携表は今年初めての取り組みです。お互いの組織、密接なる連携を取り合いながら、さらに吟味し活動の一助とします。・役員交代につきましては、徐々に若い方々の参加が進んでおり、ゆるやかな役員交代の実現を目指しています。

## 高齢化にともなう問題

**Q7** ・私事で申し訳ありません。82才で障害の有る一人暮らしの老人です。令和5年度班当番が回ってきますが免除願えれば嬉しいです。（3丁目）・私共の自治会員は、14世帯中7会員のみになり半数です。今後は更に少なくなることが高齢化により想定されます。班区割の見直しは検討されないでしょうか？（追記）当班では加入されない世帯が増えております。（理由はそれぞれあると思いますが）（1丁目）

**A7** ・高齢者にとって生活しやすいあかしあ台を目指しています。地域全体の問題として民生委員、児童委員、健康推進員、ウディータウン包括支援センター、三田市危機管理課、自治会、まちづくり連絡協議会、あかしあクラブ等と連携し、地域活動のあり方を模索しています。自治会事務所を拠点とする緊急時連絡体制など少しずつではありますが、高齢者の安全に対するフォローの体制が整備されてきています。それらの活動をご理解頂く中で、班長やごみステーション当番の免除等のルールづくりを進めています。自治会から退会されると、地域との接点がなくなり、お互いに情報の伝達・取得が途絶えることになり、高齢者の孤立化がすすむことになり、何とか自治会員に留まっただきたいと願っています。

## コロナ対策・回覧板の中止

**Q8** ・回覧板を中止願いたい。だれが触れたか分

からない物をさわってコロナ感染の不安がある。今回どれだけ改善されて再開されたのかなと思います。一人生活なので特にコロナ感染に注意している者なので、より不安に感じています。続くようであれば班委員の自治会の退会も考えねばと思っている（先日事務所に外向いて申し出済）（3丁目）

**A8** ・5月から回覧板を再開しました。確かにコロナはまだ収束していませんが、接触感染等への感染力評価も出され、再開に踏み切りました。今後の感染状況も見極め、対応させていただきます。

#### 市民病院問題・ワクチン

**Q9** ・コロナ禍にあって三田市民病院の統廃合が話題になっているが、身近な病院がなくなるのに自治会として何も要望・要求を市にしないのか。

・ワクチン接種も市民が競い合って走り回り予約を確保するのではなく、いつでも誰でも接種が受けられるよう(接種だけでなく検査も)に市に要望・要求すべきはないのか。（1丁目）

**A9** ・三田市民病院の統合・再編への動きにつきましては、あかしあ台諸団体と共に役員の学習会を複数回開き検討しました。診療科・医師・設備の整った急性期病院も必要（現状では急性期病院としての基本的機能が不安定）、身近なところに行き慣れた病院はやはり必要、移転後の病院跡に慢性期の病院を等々。地域包括ケアシステムの積極的構築の中で病院問題論議の必要あり等々。しかし、様々な角度からの意見が錯綜し、どの方針が最良かとの意見集約には至りませんでした。統合へ向けての具体的な動きが始まりますが、住民サイドに立った医療のあり方への希望を行政に伝えます。

・ワクチン接種につきましても、確かに接種初期における混乱はありましたが、時間の経過と共に緩和され、自治会事務所に問い合わせがあった方には情報提供を行いました。

#### 会計報告預金残高について

**Q10** ・お金ですが現金預金の残高が大きいようですが、何か目的があるのでしょうか。近隣地域より先行して工夫され特色ある自治会と評価しています。（1丁目）

**A10** ・預金残高は将来発生するコミュニティハウス計画営繕のために積み立てております。この2年間はコロナのために夏祭りなどの大きなイベントが中止になったため余剰金が増え、計画営繕の積立金を一時的に増額しております。詳しくは今年度の総会議案書をご確認ください。ウッディタウンの他の自治会も同様に積立を行っており、ほぼ同額の積立金残高を保有されています。

#### ウッディタウン体育振興会の分担金

**Q11** ・WT 体振分担金 数年前から変わっていないが4地区の人口構成比に基づいて見直しが必要では。（1丁目）

**A11** ・役員会・ウッディタウン連合自治会で検討いたします。現状は、ソフトボール大会や運動会等の参加人数の割合で負担金の金額を決定しています。

#### 行事費から防災防犯環境整備へ・夏祭りの開催

**Q12** ・いつもありがとうございます。活動費につ

いては、一部の方に喜ばれる活動ではなく、防災、防犯、環境整備など将来性あることにコストを費やしていただきたい。予算を残すことが良いではありません。出来てないことにもっと力を入れていただきたい 何回もいいますが、一部の人に会費、活動が享受される活動しか出来ない自治会には反対です。今のままなら、自治会を脱退させていただきます。自治会の本質的な改革を期待します。（3丁目） ・コロナ禍の中、各種イベントは中止及び規模を縮小されています。その状況を踏まえ、夏祭りは中止すべきと考えます。又、あかしあ台も年々高齢化を迎えています。その中でウッディタウン他地域との連携による夏祭りを催すべき時を迎えていると思います。今後、同方向での検討されます事を希望します。（3丁目）

**Q13** ・いつもあかしあ台自治会の活動に尽くしていただきありがとうございます。コロナ禍のため2年連続で子供達が楽しみにしている夏祭りが中止になり残念に思っております。（4丁目） ・近年、あかしあ台2丁目や3丁目に子育て世帯が増えてきており、平谷グラウンドの跡地も分譲が開始されれば子育て世帯がさらに増えることが予想されます。そこで、子供達が楽しめたり、交流できたりする行事やイベントがもっと企画されると嬉しく思っております。現状、コロナ禍ということで難しいと思いますが、今後のためにご検討いただけますと幸いです。よろしくお願い致します。（3丁目）

#### A12・13

・行事費につきましては、様々な意見があります。若い子育て世代には、夏祭りや子ども行事への希望が多く、また、高齢者には、健康行事や茶話会・カフェ行事などが求められます。現在、行事費から防災・防犯・環境への予算のシフトは徐々に進んでおり、高齢化・社会インフラ老朽化等へ対応すべく準備を進めています。夏祭りの実施の検討をしましたが、本年も中止とし、規模を縮小し秋祭への移行を考えています。

#### 交通取締・防犯灯増設

**Q14** 1.三田警察へのお願い

- ・あかしあ台公園の近隣の不法駐車取締り
  - ・あさひ幼稚園の止まれの取締り
  - ・南ウッディタウン駅前の駐車→バスが通れない
- 2.三田幹線側道歩道の防犯灯の設置（南ウッディタウン駅からセンチュリー大橋の間）
- ・720号テクノパーク三田線

センチュリー大橋からはじかみ池公園を過ぎた所辺りまでの歩道側全く街灯がついていない為、夜自転車で通る時、前に人が歩いていても見えにくいので、街灯をつけてほしい。センチュリー大橋からマル八チまでの道をよく通るので何度かヒヤツとした。

・LEDに変わってだいぶましになりましたが、信号機の所や横断歩道のある所はできるだけ明るくしてほしいです。歩行者が見えづらいです。（4丁目）

・センチュリー大橋の下のあかしあ台4丁目の東西の道路は、道路を車庫として利用している所があり、駐車違反の常習者が多々ある。防犯上 災害時の対応等、またあかしあ台の美しい街並みを守る為、駐車違反は見逃すべきものではない。関係機関（警察署等）と協

力して早急に対応をとって欲しい。(4丁目)

**A14** ・不法駐車・4丁目三田幹線側道の防犯灯の新設、貴志-長尾線の信号の設置、街路樹で見えにくくなった交通標識、横断歩道白線・中央分地帯白線の明瞭化等について自治会より三田市・県へ再三再四要望を続けています。予算の関係でなかなか実現できないのが現状です。めげずに要望を続けます。

#### 災害地支援・ウクライナ支援

**Q15** ・今回のウクライナに関する件ですが、個人として私には支援については、財政的にも殆ど無力で情けない想いです。自治会としての支援活動は考える余地があるのではないかと思いますので、できましたら御検討下されば有難いです。

例えば 1.自治体(市,県等)に相談し、自治会として支援できる事を相談する。難民の受入れの検討(可能性を含む) 2.自治会として予備費等から募金 3.「ウクライナ支援」の募金活動を行う。あまり良い提案は浮かんできませんが悪しからず。(4丁目)

**A15** ・災害地支援につきましては、これまでに、阪神・東北・熊本の震災の折には募金活動を行い会員の皆さまに多額の募金をいただき三田市・社会福祉協議会を通じて被災地に届けられてきました。自然災害が頻発し、個々の災害への募金対応については十分ではありませんが、毎年ご協力いただいている赤十字募金・赤い羽根募金を通じて、各種災害・ウクライナへの支援にも繋がっています。ウクライナの惨状につきましても何かをしなければという思いに駆られますが、役員会でも検討させていただきます。

#### スマートボール雑音

**Q16** ・あかしあ台公園の近くの電光掲示板の試行時に車で通るとラジオが聞こえにくくなり、頭の中に少し雑音が入る感じがして(気のせいだったら良いのですが)銀歯に反応して気分がしばらく帰っても悪くなる様な気がして不安に思います。(3丁目)

**A16** ・実証実験を行った関西電力発送電へ雑音などの障害発生を伝えました。

#### コミュニティハウス環境

**Q17** ・いつもお世話になりありがとうございます。コミュニティホールの下駄箱の所ですが、靴を脱ぐ場所が雨の日はドロドロになっているので、下駄箱に入れるのに困っています。昔のように板を置いてもらえないでしょうか。(5丁目)

**A17** ・コミュニティハウスの下足箱につきましては、何度も試行錯誤の上現在の状態に落ち着いています。ただ、雨の時の対応につきましては、ご指摘のとおりご不便をおかけしています。頻繁にモップで床を拭くなど改善方法を検討いたします。

#### あかしあ台小学校校舎のメンテナンス

**Q18** ・あかしあ台小学校の外壁を開校当時の美しい水色に！自治会は関係ないかもしれませんが、あかしあ台のシンボリックな小学校ですので、自治会から市や県に声を届けてもらいたい。(3丁目)

**A18** ・あかしあ台学校運営協議会の場で学校側に伝えました。近々に計画営繕の番が回ってくると聞いています。

#### あかしあ台人権を考える会

**Q19** ・あかしあ台人権を考える会補助金の項目は削除すべき。人権を考える活動は自主的なものである。市や自治会から補助を受けると人権の押しつけになる。(1丁目)

**Q19** ・あかしあ台人権を考える会につきましては、あかしあ台小学校区の様々な団体で構成され活動を続けています。三田市からの補助金10万円/年とあかしあ台自治会から1万円/年の補助金を出していますが、このところ、予算を使い切ることはなく、三田市の補助金でまかっています。特に市から活動内容を強制されることもなく、会議で審議された内容にもとづき運営されています。昨年度は生徒・住民から募集した人権標語をポスター・チラシにまとめ配布しました。

#### マンションの給水槽・高架水槽・直送

**Q20** ・「ロイヤルヒルズ三田」(65戸)マンションの長期修繕計画専門委員の者です。日頃は大変お世話になっており、有難うございます。

当マンションでは、2019年から上水道の引き込みを従来の受水槽方式から直結給水方式に変更できないか、検討を繰り返しております。しかし、一番ネックは三田市の分担金が他域に比べ高く、大きな負担となり現状断念せざるを得ない方向です。

自治会のお力を借りて、三田市の分担金を下げてもらおう働きは出来ないものでしょうか。

直結給水方式は、平成初期頃から環境省の指針に基づき衛生面や環境保護面から推進されており、大都市から順次採用され今ではタワーマンションでも増圧ポンプを設置して採用しています。近隣の市(神戸市・芦屋市・西宮市等)では積極的に直結給水方式への切換えが進んでおります。三田市役所上水道課にも訪問して、相談・協議も行い、当マンションは3階建てであり問題なく、転換は可能であることは判明いたしております。

現状の場合の受水槽・ポンプ等の経年劣化時の取替えや定期清掃・水質検査・電気代等の管理コストやランニングコストと直結方式の伴う工事費等の自己負担、経済効果を比較しながらも当マンションの住民からは、安全で良質な水が直接各戸の蛇口に届けられる衛生面を重視し直結給水方式に切り換えて欲しい声が大勢です。打開策などご検討をよろしくお願い申し上げます。

(4丁目)

分担金(1戸当たり)

給水管径口 20mm

三田市 300,000円 宝塚市 130,000円

西宮市 75,000円 尼崎市 124,000円

芦屋市 175,000円 神戸市 60,000円

伊丹市 136,000円 大阪市 ゼロ

**A20** ・受水槽・高架水槽を直送方式への問題は、住民の衛生環境に係わる大切な問題ですので、自治会としてもお力添えできればと考えております。